

1冊の本から 「難民支援」を考える

「難民支援」問題は、教科を問わず、どの授業でも学ぶことができます。
今号では、「国語」の授業を通して、「難民支援」について考えます。

校内で募金を呼びかける児童・生徒たち

神戸市立原田中学校1年生を対象に、「難民支援」をテーマにした国語の授業が行われました。授業を企画した武知先生に、その意図を教えてくださいました。

筆箱の中に使いきれないほどのペンを持ち、分解して壊したり、教科書の端もちぎって投げる…。そんな生徒たちの様子を見て、「世界には鉛筆1本、教科書1冊を心から欲している子どもたちがいるのに…」と、教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれたマララさんの国連スピーチが頭の中をよぎりました。そんな子どもたちがいると知れば、生徒たちは行動を変えるのではないかと…。それが、授業で難民支援を取り上げた理由でした。

押しつけのきれいなことや、単に「日本に生まれてよかった」「かわいそう」と感じるだけのものにならないように、国連UNHCR協会の協力をいただいて、本物の資料を見せること、生の声を聞かせること、私たちにできることは何かを考えることに準備の時間を注ぎました。見れば、聞けば、きっと生徒たちは知りたくなり、動き出すと確信していました。

知りたくなった生徒たちに、資料をどんどん見せるのは簡単で、本物の資料には生徒を引き付ける力がありました。本当に自分が感じたり憤ったり、訴えたいと思ったことをスピーチにしてもらいたかったので、資料を提示するたびにワークシートにメモを取らせ、調べ物をするたびに記録を取らせ、毎回私も目を通しました。

そのメモや記録の中から生徒たちは自分の思いをスピーチにして発表しました。原稿には、生徒たちの心のこもったメッセージや、大人のつくってきた社会へ



の憤りなど、言われたのではない本当の言葉が詰まっていた。スピーチ後、自然と生徒たちから「先生、募金活動しよう!」と、声が上がりました。

中学1年生には、難しい内容だと思う方もいるかもしれませんが、子どもたちは難しくても真実を知りたいがっているし、知れば大人よりも素直に行動に移せる力を持っています。

総合や道徳の時間に扱うほうがふさわしいかもしれませんが、学年全体で取り組むには、会議をして、時間を確保して…とさまざまなハードルがあります。クラスごとに別の教師が教えるとなると、温度差も出ます。自分の授業ですれば、すぐに取りかかれます。その身軽さと、資料を提供してくださった国連UNHCR協会のおかげで、今回の授業を実現することができました。生徒たちの素晴らしい魅力をまたひとつ見ることができました。

武知恭子

「難民支援」問題は、新聞やテレビなどでよく取り上げられ、現代社会の大きな問題となっていますが、日本に暮らしていると、なかなかその実態を理解することが難しいのが現状です。

けれども、学校の授業で学ぶ機会があれば、より身近に感じられ、無関心ではいられなくなります。また、その学び方も「映像を見る」「歴史を知る」「本を読む」など、いろいろな方法があります。

授業の進め方〔一例〕

1

書籍等(例:『わたしはマララー教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女』マララ・ユスフザイ[著])を通して、作品への理解を深めるとともに、日本に住む私たちの暮らしとの違いを知りましょう。

ポイント

- 自分たちにとって当たり前と思われていること(例:自分の国で安心して暮らす／教育を受ける／食事をする／仕事をする等)が、ほかの国では決して当たり前ではない、ということを説明します。
- 教科書だけでは知ることのできない世界に目を向けます。

2

ほかの国の実態を知ること、自分たちがいかに恵まれているかを理解しましょう。

ポイント

- 鉛筆1本、教科書1冊を心から求めている子どもたちが世界にいることを伝え、「感謝」の気持ちが芽生えるように、導きましょう。
- 「難民」に関する資料や写真等を通して、難民の定義、実態や彼らが直面しているさまざまな問題に目を向けましょう。
- 「自分たちにできることは何か」を考えましょう。

3

「世界のために私たちにできること」をテーマに、一人ひとりの思いをスピーチで発表しましょう。

ポイント

- 図書館で調べ物をしたり、自分の思い、意見や考えを整理して、スピーチ原稿を作成するよう支援しましょう。

4

スピーチを通して、児童・生徒たちにどのような発見があったかをクラスで共有しましょう。

ポイント

- 「世界中には、いろいろな境遇に置かれた人々がいる」ということ、また、「日本にいてもその方々の手助けができる」ということを理解しましょう。

教職員の皆さまへ

国連 UNHCR 協会ホームページ上の「団体・学校の皆さまへ」コーナーに、学校での学習実践例など、参考情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

また、授業で使用する資料や写真は、貸し出しも可能です。当協会までお問い合わせください。

<http://www.japanforunhcr.org/>



スピーチを行う男子生徒



募金ポスター